

令和8年（2026年）4月1日	
所 属	デジタル推進課
所属長	田中 秀幸
電 話	06-6489-6202

**“共創型スマートシティ”を目指し、「あまがさき共創 DX プラン 2.0」を始動
～市民一人ひとりに寄り添うデジタル社会へ～**

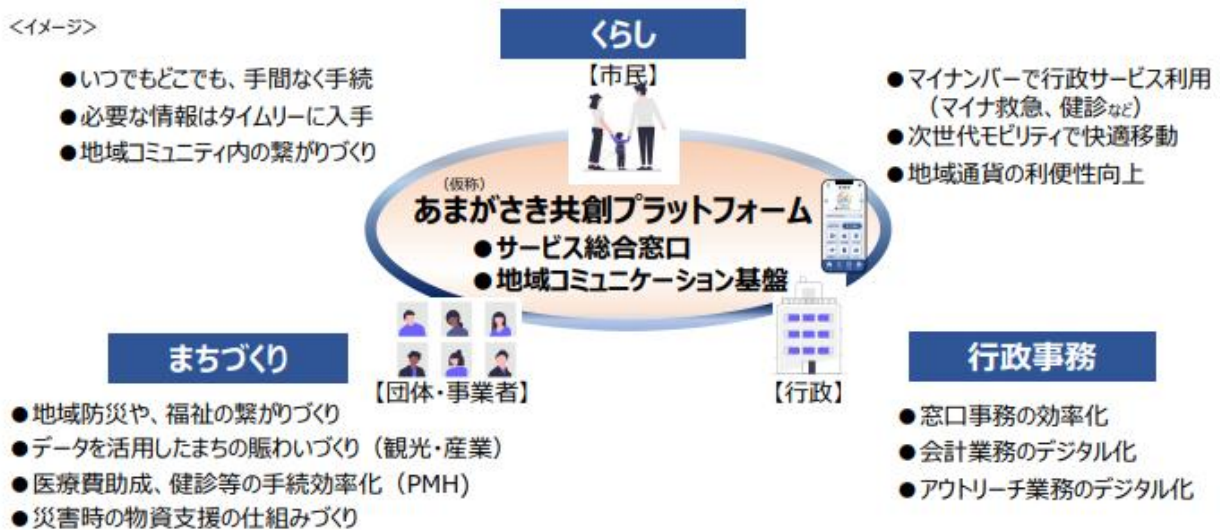
尼崎市は、2026年度（令和8年度）から2028年度（令和10年度）までの3カ年を計画期間とする、本市の新たなデジタル化推進計画「あまがさき共創 DX プラン 2.0」を策定しました。

本市では、2023年（令和5年）12月に「あまがさき共創 DX プラン」を策定し、「共創」をキーワードに市民・職員のニーズに寄り添ったDX（デジタル・トランスフォーメーション）を推進してきました。この度、これまでの成果と課題、そして市民の皆様からの声を反映し、取り組みをさらに加速させるため、新たなプランへとバージョンアップを図りました。

本プランでは、「尼崎版“共創型スマートシティ”」を将来像に掲げ、デジタル技術を活用して市民や地域とつながり、共に新しい価値を創り出すことを目指します。

◆目指す姿：尼崎版“共創型スマートシティ”

<イメージ>



1 計画期間

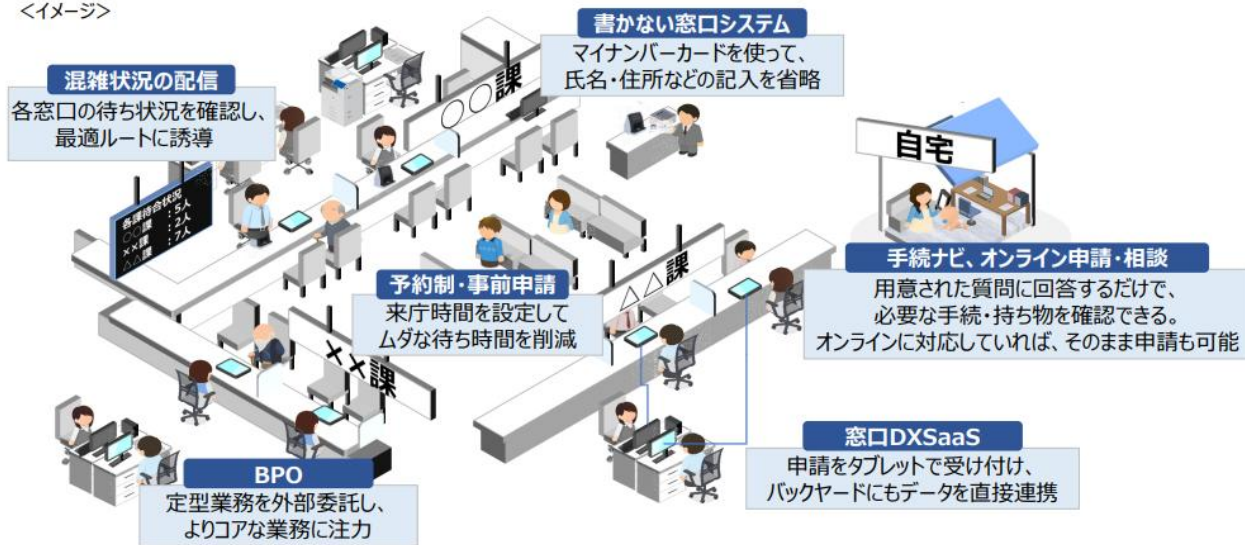
2026年度（令和8年度）～2028年度（令和10年度）

2 主な取組

(1) 窓口手続のスマート化

「行かない窓口（オンライン申請）」の拡充に加え、来庁が必要な場合でも負担を減らす「書かない・待たない窓口」の実現を目指します。

<イメージ>



(2) 市民と行政を繋ぐ共創プラットフォームづくり

市民が普段使いできる市民ポータルアプリの導入を検討します。必要な情報のプッシュ通知や、既存 Web サービスの集約、市政への参画を促進する基盤を構築します。



(3) 抜本的な業務効率化

ノーコードツール等による内製化に加え、生成 AI および特化型 AI 等の破壊的技術も活用した飛躍的な業務効率化に取り組みます。

3 閲覧方法

本計画の全文は、尼崎市公式ホームページにて公開しています。

https://www.city.amagasaki.hyogo.jp/shisei/si_kangae/si_keikaku/1035658.html

以上